

寄贈図書リスト

- ① 系外惑星の物理, 犬塚修一郎・小林浩 編著, 田村元秀・大西利和・小久保英一郎・百瀬宗武・生駒大洋 著, A5判, 272ページ, 5,000円+税, 講談社
- ② 世界の暦文化事典 普及版, 中牧弘允 編, A5判, 462ページ, 5,800円+税, 丸善出版



月報だよりの原稿は毎月20日に締切り, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。ご投稿いただいた記事は, 翌月初旬に一度校正をお願いいたします。

記事の投稿は, e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛にお送りください。折り返し, 受領の連絡をいたします。

研究会・集案案内

茨城大学理学部附属宇宙科学教育研究センター／
国立天文台水沢 VLBI 観測所茨城観測局
第17回【公開天文台】のお知らせ

日立市と高萩市に跨ってある32mパラボラアンテナ2基は, 衛星通信アンテナから電波望遠鏡へのアップグレードがなされ, 日本・東アジアVLBIの主要施設として, 国際的に優れた天文学研究の成果を挙げています。子どもたちを含め, 多くの地域のみなさんに, 宇宙の科学に親しんでいただきたいと考え, 今年度も公開天文台を開催することとなりました。

日時: 2026年4月18日(土) 10時30分~14時30分
(雨天決行)

場所: 茨城県高萩市石滝627-1
(さくら宇宙公園内)

茨城大学理学部附属宇宙科学教育研究センター
国立天文台水沢 VLBI 観測所茨城観測局

主催: 茨城大学

共催: 国立天文台

後援: 高萩市観光協会, 日立市教育委員会, 日立市観光物産協会

内容: パラボラアンテナ施設・地下道見学

(10:30-13:00 [12:30受付終了])

講演「宇宙を照らす謎の閃光」(橋山 和明
[国立天文台 水沢 VLBI 観測所 特任研究員])

(13:00-14:30 [12:30より受付, 先着100名])

参加料: 無料

アクセス:

[1] 鉄道: JR常磐線高萩駅下車

(1) 会場まで徒歩 約30分

(2) MyRideのるる(オンデマンドバス)利用:
さくら宇宙公園下車すぐ(当日の運行時間9時から15時)

[2] 乗用車: 常磐自動車道 高萩インターもしくは日立北インターより高萩市街方面約15分9km, 明秀学園高萩キャンパス前を山側住宅街に曲がり600m先

駐車場: 無料 普通車約300台駐車可

注意: アンテナ見学は動きやすい服装, 靴で参加ください。

問い合わせ: 茨城大学理学部附属宇宙科学教育研究センター

〒318-0022 茨城県高萩市石滝627-1

Tel: 0293-24-9516

Fax: 0293-24-9517

メールアドレス: infoast@ml.ibaraki.ac.jp

URL: <http://www.asec.ibaraki.ac.jp/>

会務案内

会員の受賞報告

このたび, 日本天文学会が推薦した会員が以下の通り選考されましたので, 報告いたします。

第66回(2025年度)東レ科学技術研究助成

三石郁之氏(名古屋大学大学院理学研究科 講師)

研究題目: 精密光学と小型衛星による天文X線イメージングの研究

公益社団法人日本天文学会 2026年度(2026年4月1日～2027年3月31日) 事業計画書と予算書

2026年1月13日に開催された代議員総会において2026年度の事業計画書と予算書が承認されました。事業計画書と予算書は日本天文学会ホームページ(<https://www.asj.or.jp>)で公開しています。ホームページ上部の「日本天文学会について」の情報公開をご覧ください。

日本天文学会 2026年度事業計画書の概要

事業計画はおおむね例年どおりです。欧文研究報告・天文月報・年会予稿集・ジュニアセッション予稿集・「シリーズ現代の天文学」英語版および日本語改訂版の刊行、年会の開催、全国同時七夕講演会、学会各賞の授与、助成金、後援事業、民間団体等の各賞への推薦、衛星設計コンテスト、キャリア支援事業、男女共同参画事業、天文教育普及事業、インターネット天文学辞典の編集、ウェブサイト・TENNET等の運用、天文学白書作成に関する事業を行う予定です。2026年度は新たに、若手国際交流研究会基金の設置と、ハラスメント外部相談窓口の設置を予定しています。また、2026年度中に2027～2028年度の会長候補者を選出する会長候補者選挙を行います。

日本天文学会 2026年度予算書の概要

公益社団法人として、公益目的事業の適切な実施とともに、保有上限額がある遊休財産額の適正化を考慮して予算書を作成しました。全体としては事業収益120,005千円・事業費用131,071千円と、費用が収益を上回る予定です。予算上最も大きな事業である欧文報告事業では、論文アクセス制限解除(オープンアクセス)の需要増及び円安の影響で引き続き収益が費用を上回る見込みです。年会事業では、新投稿システムへの移行のため新たな費用を計上していますが、予稿集の印刷版廃止による費用削減、開催地費用の減少見込みにより、全体として前年度と同程度の費用となる見込みです。その他については、現会員数に基づく会費収益など、ほぼ例年どおりの経常収益です。経常費用については、事業/法人活動を維持するための定常的費用に加えて、2026年度から新たにハラスメント外部相談窓口を設置するための費用、及び寄付金に基づく新たな助成事業である若手国際交流研究会基金のた

めの費用を計上しています。

(文責 庶務理事: 永井洋, 会計理事: 美濃和陽典)

2025年度日本天文遺産について

2025年度日本天文遺産は、2026年1月13日の代議員総会において次のように決定しましたのでご報告いたします。

◇「星座石と陸奥州気仙郡唐丹村測量之碑」

所有者: 釜石市

管理者: 本郷文化財愛護少年団育成会・釜石市教育委員会

◇「上松赤外線望遠鏡」

所有者: 兵庫県公立大学法人

管理者: 兵庫県公立大学法人(兵庫県立大学西はりま天文台)

欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan: PASJ) からのお知らせ

昨年4月から実施しております「本文掲載料の半額化」につきまして、多くの論文をご投稿いただきありがとうございます。

引き続き皆様にご利用いただけるよう、半額適用の期間をさらに1年間延長することにいたしました。

新たな期間終了日は「2027年3月31日」です。期間内に投稿され、受理時にStandard License(非オープンアクセス論文)を選択された場合、会員資格の有無にかかわらず、本文掲載料が半額となります。

従来通り、条件を満たす場合は正会員割引が適用されます。正会員割引は、筆頭かどうかにかかわらず著者に正会員が含まれており、投稿査読システムに正会員(1名)の方の会員番号を入力した場合にのみ適用されます。

標準 3,000円/頁

正会員割引 2,100円/頁

なお、オープンアクセス論文は半額化の対象外です。

皆さまからの投稿をお待ちしております。

欧文研究報告編集委員会

天文月報 119巻5月号 主な掲載予定記事

すばる望遠鏡 学生PI現地観測プログラム特集 (1): 巻頭言【宮崎聡】 化学特異星の近赤外線高分散分光観測と中性子星合体からの電磁波放射への応用【土本菜々恵】 すばる望遠鏡で探るビッグバン元素合成時のヘリウム量【松本明訓】 はやぶさ2拡張ミッション探査先小惑星1998 KY26の可視分光および偏光観測【紅山仁】 ホットジュピターの最期を追った掩蔽観測【河合優悟】 すばる望遠鏡の現地観測を通じて学んだこと【鈴木善久】

天球儀: 講書始の儀【家正則】

〈シリーズ〉海外の研究室から: 海外で研究する, という選択肢—NASAでの6年間【村松はるか】

編集委員: 日下部展彦 (編集長), 岡本文典, 小山翔子, 志達めぐみ, 鈴木大介, 高橋葵, 田中壱, 谷川衝, 鳥海森, 中島亜紗美, 信川久実子, 橋本拓也, 福島肇, 藤澤幸太郎, 宮武広直, 宮本祐介, 守屋堯

令和8年4月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社

定価733円 (本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487

振込口座: 郵便振替口座00160-1-13595 日本天文学会

三菱UFJ銀行 三鷹支店 (普) 4434400 公益社団法人 日本天文学会

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2026年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)